

(別紙1)

令和5年度 障害児・者とのコミュニケーション支援技術研修会
日 程 表 (カリキュラム)

12月9日(土)

9:00~9:45	受 付
9:45~10:00	開 講 式
10:00~11:00	障害のとらえ方
11:00~11:10	休 憩(10分)
11:10~12:10	コミュニケーションを考える際に大切なこと (評価も含めて)
12:10~13:10	昼食タイム(60分)
13:10~14:10	知的障害のある人とのコミュニケーション (大切にしたいこと)
14:10~14:20	休 憩(10分)
14:20~15:20	知的障害のある人とのコミュニケーションの方法を考える (実践編)
15:20~15:30	休 憩(10分)
15:30~16:30	発達障害のある人とのコミュニケーション (大切にしたいこと)
16:30~16:40	休 憩(10分)
16:40~17:40	発達障害のある人とのコミュニケーションの方法を考える (実践編)

12月10日(日)

9:30~10:30	重度・重複障害のある人とのコミュニケーション (大切にしたいこと)
10:30~10:40	休 憩(10分)
10:40~11:40	重度・重複障害のある人とのコミュニケーションの方法を考える (実践編)
11:40~12:40	昼食タイム(60分)
12:40~13:40	肢体不自由のある人とのコミュニケーション (大切にしたいこと)
13:40~13:50	休 憩(10分)
13:50~14:50	肢体不自由のある人とのコミュニケーションの方法を考える (実践編)
14:50~15:05	ま と め
15:05~15:15	閉 講 式

※上記の予定カリキュラム・講義時間は都合により変更する場合があります。

【特別演習】地域共生社会実現のための研修プログラム「Let's 協力」(参加費無料)

15:30~17:00	【グループ演習】カードを使用した研修プログラムの実践
-------------	----------------------------

「連携」や「協力」を体感できる！

地域共生社会実現のための研修プログラム「Let's 協力」

公開講座（お試し体験会）

（公財）日本障害者リハビリテーション協会

地域社会に貢献したいと思っている方、ぜひご参加ください。

- 地域活動をしているが、課題が多く自分たちでは対応しきれないと感じることが多い。
- 困っている人たちをなんとかしたいけど、日々の仕事に追われて手いっぱい。
- 連携、協力、協働が大事といわれても、どのように課題を共有してよいかわからない。
- 漠然とではあるが、一緒に活動すれば課題解決ができるという期待感を持っている。

日本障害者リハビリテーション協会では、このような思いを抱えながら地域で活動している実践者向けの研修ツール（カードゲーム）を開発しました。ご所属の組織で、地域社会で、楽しみながら「連携」や「協力」について学べるツール「Let's 協力」を体験できるチャンスです。ぜひ奮ってご参加ください！

開催日時：2023年12月10日（日）15:30-17:00

場所：戸山サンライズ（「障害児・者とのコミュニケーション支援技術研修会」の会場を引き続き使用）

対象者：「障害児・者とのコミュニケーション支援技術研修会」受講者

参加費：無料

申し込み：コミュニケーション支援技術研修会申し込みの際、「特別演習に参加する」にチェックを入れてください。

こんなことが学べます

- 地域住民には多様なニーズがあること
- 課題を解決してくれるすべての資源が揃っている地域などないこと
- 個人や一つの組織で地域社会の困りごとは解決できないということ
- 気がついていない糸口があるという解決への可能性を探る能力
- 専門的なアプローチ（資源）のみに頼るのではなく、地域住民のアプローチ（実践）と共に活動することの有効性とその方法
- 一方通行でない、対話型コミュニケーションの体験

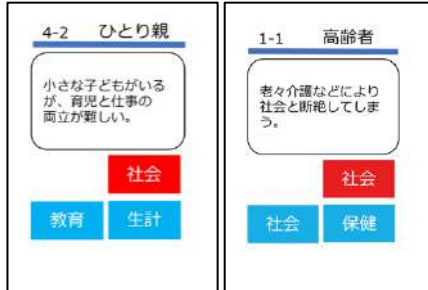


研修の概要

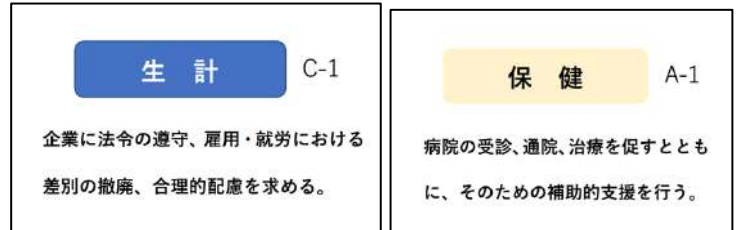
「Let's 協力」はカードゲーム（前半約1時間）と振り返り（後半約1時間）で構成される研修です。

カードゲームについて（前半）

- 3～5人の小グループで進めます。
- 18枚のニーズカードと15種類の支援カードを使用します。



ニーズカード（例）18枚



支援カード（例）15種類

- ゲームは、ニーズカードに対応する支援カードを選択する第1ステージと、グループメンバーと協力してさまざまな支援の方法を検討する第2ステージに分かれています。
- グループごとに達成度を競うのではなく、グループを一つの地域社会と仮定して、支援を必要とする人への理解を深めながら求められているのは何かを話し合うことを目的としています。

振り返りについて（後半）

- 参加者は、前半のカードゲームを通じて考えたこと、感じたことをグループ内でシェアします。
- 振り返りにより、地域で暮らす人々のニーズは多様であること、個人や一つの組織で地域の困りごとが解決できない場合、どう「連携」していくのが良いか等について、意見を交わしながら学んでいきます。

参加者からのコメント（抜粋）

- 地域社会の課題について包括的な視点を持ち、どうアプローチしていったら良いかについて学ぶことが出来た。
- 振り返りで学んだ「CBID（地域に根ざしたインクルーシブ開発）」の5つの視点が、地域社会の状況を理解したり、課題を整理するのに分かりやすく視野が広がった。

「Let's 協力」についてのお問い合わせは公式ホームページもしくは下記へお気軽にご連絡ください。

〒162-0052 東京都新宿区戸山1丁目22-1

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

担当：宮前 (kokusai@dinf.ne.jp)



公式ホームページ

<https://www.jsrpd.jp/overview/cbid/training/>